

平成28年度 第1回江差町総合教育会議「議事録」

- 1 開催日時 平成28年5月31日（火） 15:58～16:51
- 2 開催場所 江差町役場町長室
- 3 出席者 江差町長 照井誉之介
江差町教育委員会 小路政信委員長・加澤優香子委員・高岡広明委員
中野志帆委員・新木秀幸教育長
(事務局：中川智学校教育課長・若山三千年教委総務係長)
- 4 協議事項 (1) 江差町教育大綱について
(2) あすなる幼稚園のあり方について

●中川学校教育課長

ただいまから平成28年度第1回総合教育会議を開催いたします。
まず町長から挨拶申し上げます。

●照井町長

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

平成28年度の第1回総合教育会議ということで、大きく2つの議題について皆さんと意見交換したいと思っております。特にあすなる幼稚園のあり方を早急に教育委員会で方針を出していきたいと思っております。行政はできるだけスリム化して民間ができることは民間でやっていただくという考えのもと今行政を進めております。そういう中で、あすなる幼稚園の方向性を示して民間と行政が共倒れにならないようなかたちを模索していかなければならないと思っております。もしかしたら大きな反発を招くかもしれません。しかしながら、私が先頭に立って責任を持って進めていきますので、皆さんの忌憚りの無いご意見をお聞かせさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

●中川学校教育課長

ありがとうございました。ただいま町長からもありました。本日の協議事項は2つでございます。まず1つ目は「江差町教育大綱について」と2つ目が「あすなる幼稚園のあり方について」ということで先の会議でも議論いただきました。あすなる幼稚園の今後についてということで募集停止の方向性などについて協議をしていきたいと思っております。
これからの進行については町長をお願いしたいと思います。それでは町長お願いいたします。

(1)「江差町教育大綱について」

●照井町長

それでは協議に入りたいと思っております。最初に江差町教育大綱についてですが、内容について教育長から説明をお願いいたします。

●新木教育長

江差町の教育大綱につきましては、去年第1回目の総合教育会議の中で今年の3月までやっておりました教育推進計画を教育大綱にするということで決定していただきました。

この教育推進計画はご承知のとおり4月から新しくなりましたので、これに基づいて新たに教育大綱をつくらせていただきました。この教育大綱につきましては、見るとおりこの項目をひとつずつ取り出しながら極めて簡素に書いています。普通基本的には教育大綱は十分に賄えるものでございまして、北海道や函館市につきましてもこの程度のようなもので、むしろ江差町のほうが詳しく書いている程度でございます。これにつきましてはお手元の教育大綱1ページをめくって2番目に大綱の期間というものがございます。この教育大綱が対象とする期間は平成28年度から32年度までの5ヵ年としますということで、この年度についても定めがないのですが、この教育推進計画は5ヵ年計画ですので一応この計画がある限りは5ヵ年を継続しましょうというのがひとつでございます、それから今日この後にご協議をいただく中で、関連してくるのは下から2つ目(1)幼児教育の推進というところでございます。基本的には2行目の後段に「質の高い幼児教育が求められる中、町内の子ども

化の進行が著しいなど社会環境の変化の中で、今後の公立幼稚園のあり方について早期にその方向性を定めます」というような一項目が入っています。これがこちらに入っていない項目の唯一の一行なのです。ですから基本的には教育大綱の中では今後5年間の中で公立幼稚園のあり方について定めますという、5年計画ですから文言だけそこに置いて、あとはこちらから拾った部分でございましてご理解いただければ結構かなと思っております。

それで表紙にもありますとおり平成28年の6月ということになっておりますから今日は5月末です。今日ご了解いただければ6月から向う5年間の教育大綱にするという内容となっております。とりあえず説明簡単ですけれども以上でございまして。

●照井町長

今教育長から説明があった教育大綱についてですが、ご意見を伺いたいと思います。何かご発言ある方はいらっしゃいますでしょうか。

●新木教育長

中にも書いておりますけれども国あるいは道それから町も大きな計画変更がありましたらそれにあわせて変更しますよということも文言に入っておりますので当面はこのままいければと思っております。

●照井町長

特にございませんか。

それでは新しい今後5カ年の江差町の教育大綱については、別紙案を大綱とすることよろしいですか。

(「はい」という声あり。)

●照井町長

ありがとうございます。

(2)「あすなろ幼稚園のあり方について」

●照井町長

それでは2点目の公立幼稚園のあすなろ幼稚園のあり方について議題といたします。

この件については前回の会議において私の基本的な考え方を申し上げて委員の皆様にも概ね賛同を得たと思っております。本日は今後の作業を含めて改めて協議したいと思います。最初に教育長から役場内部での協議や議会対応について説明をお願いします。

●新木教育長

前回の教育総合会議でございまして1月28日に行われた会議の中で町長から募集停止等について考えたいということでは皆様からご賛同の意見が多かったと理解しております。それを受けまして教育委員会の行政執行方針、それから町長の行政執行方針の中で改めてあり方について検討したいという文言だけ入れました。これは3月議会でお話しをしております。そこで今後どうしようか考えているわけですが明後日議会全員協議会がございまして。その段階で基本的に町長からお話をいただくわけですけれども9月までに一定の方向を出したいということです。具体的に募集停止の時期や廃園の時期等お話しはしません。いずれにしても公立幼稚園のあり方について9月までに一定程度の方向性を出したいと考えておりますということで総合教育会議今日含めて2回の議論となります。役場は中川課長、財政課長、まちづくり推進課長、総務課長、町民福祉課長で具体的な時期や財政的な観点、公表した場合の問題点、宗教的な話も以前ありましたのでこれらを会議の中で一定程度の結論を出すようお願いしたい。前回と今回の総合教育会議の中でそういう方向が確認できれば、具体的には役場の課長の方に委ねていただければいいのかと思っております。ただ教育委員会としても当然この会議に参画しているわけですから9月の議会前には一定の方向は教育委員会にも報告させていただきます。このような流れで行ければということで明後日の議員協議会で簡単ですけど方向性を町長から出して行きたいと考えております。

●照井町長

それでは現在の町の考え方を含めて皆様のご意見を伺いたいと思います。ご自由にご発言いただければと思います。

●中川学校教育課長（資料の説明）

●照井町長

課長より現状の説明がありました。ご自由に発言いただければと思います

●小路教育委員長

現状として幼稚園と保育園の教育の差というのはあるのですか。

●中野委員

教師の立場として宗教があるので神様とともにというのが基本となっておりますが、保育については学生のときに教育実習に行ったきりですので今は色々変わっていると思いますが、お昼寝があるかどうかの違いですかね。昔は保育園園児のお母さんは働いているから通わせる。幼稚園園児のお母さんは専業主婦というのが通常でしたが、今は幼稚園に通わせながらフルタイムで働いているお母さんもおります。そういうニーズに合わせて、朝早くや夕方遅くまで預かるサービスをしている。夕方遅くなる場合お腹が空くからおやつに腹持ちのいいものを与えるなど考えている。

●小路教育委員長

実質保育園としての活動が主になってきているのでは

●中野委員

保育園化している。働くお母さんにやさしくなっている。

●小路教育委員長

こういうことを言うのは失礼なんですけど結構ブランド化で幼稚園に通わせたいという傾向があるのでは

●中野委員

昔はありました。今もちょっとあります。

参観日はスーツで着てくるとか・・・最近も言われました。そんなことはないとは思いますが。

●小路教育委員

それが悪いというわけではないのですが、保育園と幼稚園の違いそんなにあるとは思えない。

●高岡委員

ちなみに幼稚園保育園入園者数の一番したに書かれている入園率38.5%、52%となっておりますがそんなに預けないのですか。

●中川学校教育課長

トータルで3歳児から5歳児の実際の人数に対して入園している92.2% 1割位が入園していない。

●加澤委員

正直な話この数字を見て愕然とします。あまりにも子どもの数が少なすぎて。江差幼稚園さんが保育園化しているとありますが、かなり企業努力をされていると思います。通常の幼稚園の保育時間はおそらく10時から14時までだと思いますが、でも早く出勤するお母さんのために早く幼稚園を開園したり、また遅くまで仕事をされているお母さんのために17時~18時くらいまで預かる等今の働くお母さんのニーズに応えているような働き方をしていると実際思っております。このままだったら共倒れみたいになってしまう。私は頑張っている方を残してほしいと思います。これがもちろん子どもがたくさんいて待機児童もたくさんいるところではそういう必要はないのですが、現状子どもが少なくなっているのであれば、私は江差幼稚園さんを残したほうがいいのかと思います。

●高岡委員

さすがに民間の方がリアルタイムにきめ細かに対応していける体制はできていますね。

●中野委員

すごく考えてます。あの手この手企業努力してます。

今年度から新制度で町にもお世話になっております。助けてもらいながら何とか生き残っていくた

めに上部も企業努力してます。

●照井町長

やはり行政は民間を圧迫してはいけないと思うのですが、それが今そういう状況にあるように思っており、努力されている民間の施設があり、そちらを支える方が子どもの教育のためには、私は選択すべき道ではないかと考えております。このままやっていけば両方とも厳しい状況になっていくと思います。かたや保育園は民間がやるのはなかなか難しい、だからこそ行政が運営することで考えております。表面だけでとらえられると教育を切り捨てるように見えるようにも思うのですが、そうじゃないっていうことをしっかり私も先頭に立って皆さんに説明しなければと思っております。

●高岡委員

さっきの話でもあすなろ幼稚園や保育園が努力していないというわけではなく何かを変える時に非常に変えづらい仕組みの中にある組織だからそういう点では民間は思いの中で対応していくことができるから、共倒れになる可能性は十分あるし人数が減れば減るほどアンバランスが生じる。過去入園式へ行ったら入園園児が女の子6人、男の子が1人という状態でそんなアンバランスの中にあると比べるものが無いし偏りが生じてくると子どもにとってもマイナスだなと思います。

●中野委員

転勤されてくる方が幼稚園に見学に来てくださるのですが、私が園内や概要を案内するが、その中で公立のあすなろ幼稚園も紹介し見学を薦めます。2つの幼稚園から子どもにあすなろ幼稚園を選択していただくようにしておりますが、あすなろ幼稚園がなくなると選択肢をなくなる。選択肢をなくしてしまうということに関して、その責任を重く感じると思います。

●照井町長

制度も変わりつつある中で、選択肢が無くなるということで逆に保護者があすなろ幼稚園を選択するのは、どういう場合がありますか。

●新木教育長

ひとは入園料保育料が安い。入園料 5,000 円と保育料月額 6,300 円、江差幼稚園は 18,000 円くらいなのでその差が大きい。江差幼稚園さんの売りとなればバス送迎。それから本来やらなければならないが人を増やすことができない特別支援教育です。保育園はそれなりに知的障害とかなんとかやれておりますがあすなろ幼稚園はやっていない。新たに教諭を用意しなければならないので園児が何人来るかわからないものに対し人的対応が厳しい。本来今の時代はやっていないのはある意味まづい。園児 16 人に正職員 3 人配置、3 クラスに 1 人ずつ配置、16 人だから 8 人ずつで 2 人の配置というわけにはならない。その他に園長が囑託で配置しており、冒頭に町長が行っていた相対的な行政のスリム化を考えると難しい。

●中川学校教育課長

あとは上の子があすなろ幼稚園だったから、次の子もあすなろ幼稚園という場合もある。

●中野委員

それもありますが、上の子が江差幼稚園で下の子があすなろ幼稚園に入りました。その逆もありましたし、満 3 歳児で保育園に入りその後江差幼稚園に転園したり様々です。直接理由は聞くことはできませんでした。

●新木教育長

今の保育園・幼稚園の基本的なやっていることは同じなのですが、いずれも保育という部分でやっております。ただお母さんが勤めてない方は 4 時間保育の幼稚園、お母さんが勤めている場合は 4 時間で帰られても困りますので 8 時間保育で保育園、昔から見ますと仕事を何もしていない方は少なくなっております。

未満児は受けてますか。

●中野委員

受けてます。

●新木教育長

うちは受けてないです。人を増やして受ければいいだろうという声も無いわけでは無いのですが、中々この人数定員 85 人対しての 20 人前後では行政としては厳しいものがあります。

●中野委員

保育園で働きながら子どもを江差幼稚園に通わせている方もおります。

●照井町長

先ほど中野委員が言いました選択肢が減るっていうことに対して何らかの手立てというか行政として考えていかなければと思うのですが、先ほど教育長が言った価格の面、保育料の面であるのであればなんらかの措置を考えていかなければと思っています。けれども民間を圧迫して民間もできませんとなった時、町が抱えるというのが非常に難しいと現状でありますので何とかいい形をつくっていきたいと思っています。

●中野委員

どんどんあすなる幼稚園の園児が減っていく状況で役場内からまずいなという話はなかったのでしょうか。

●新木教育長

10年以上前からありました。保育園を5つ持っていて、幼稚園を1つ持っていてかもめ保育園ができたというのは保育園5つを2つにしましょう。あすなる幼稚園は廃園しましょう。この結論が役場の職員の中で1年間議論して出たのです。その流れの中で市街地にある3園かしわざ保育園、とよかわ保育園、五勝手保育園を一つにしてもかもめ保育園ができたのです。当然流れからあすなる幼稚園の廃園もスケジュールに載っていたのですが、色々ありまして現在まで存続している。うちの保育園は日明と水堀の方は学校が統合したこともあって中々ひとつにできなかった。現在3園となっている。流れはどこかでけりをつけなければだめだとは思っていた。議論のなかではかもめ保育園は認定子ども園にしましょうという案もあったのです。そうすると30人の枠が取れますということでしたが、直前までできてだめになったものですからそれから定員20人台でこの4月から16人となった経緯です。課題とすれば行政的にずっと持っていました。あるものを無くするというのは抵抗もありますし、そこにきちっとした理論付けを考えなければならぬ、ただお互いつぶれる方向では困るし、まして16人の園児しかいないの中でこれ以上増えてくる要素は考えづらいです。あっても20人行く年があるかどうかとすれば、行政としては8時間の保育は公立保育園、4時間保育については民間というすみわけの選択の時期、ある意味過ぎていくと思うのですが決断しなければならぬ時期だと思えます。

●高岡委員

何の組織でもそうですが無くするという事は一番精力をかけるし大変、始めるのは簡単。無くするという事は一番抵抗が大きい、でもこれをやらなければどうしようもない話だし先送りにしたいところだけれども、ギリギリになってからどうしようもないということでもやるくらいだったら、もうこの先の数字で見えてますよね。完全に誰もが納得する数字までいってしまいます。やめるのは難しい理論武装をしてある意味強引でも町のために確固たる信念のもとにやるという決断をするしかないと思う。批判はあって当たり前という覚悟でやるしかない。

●新木教育長

4月から全部廃園する意味ではないですから、募集停止しても今の3歳児が4～5歳児まで通える、課題として残るのは、転勤してきました「私の子どもは4歳児です。」という場合、4歳児は在園児として受け入れていますから、そこで4歳児を新たに受けるのか、それとも在園児しかみないのか具体的な課題が残ります。募集停止した年から2年間は継続しなければなりません。

●高岡委員

最後の園児は少しかわいそうな状況になるかもしれない。運動会等2、3人でできないですよ。

●照井町長

その時には例えば江差幼稚園さんや保育園に移動してもらおうとかそれは希望に沿う形をとってほしい。

●新木教育長

小学校の付属幼稚園ですから運動会等は小学校と一緒にということも考えられる。

●照井町長

いずれにしても今いる園児に支障のない形で最大限配慮して考えていかなければと思います。

●高岡委員

行政らしからぬ柔軟性が必要になりますね。

●新木教育長

行政だからこそ柔軟に対応しなければと思います。

●高岡委員

行政は難しいですね。あちこち許可もらわなければならないし、中々スペースいかないし、全員が同じ方向を向くことは無いわけだし。

●小路教育委員長

本当の根っこの部分で教育的に考えれば幼稚園でなくてもいいんですが、ただそれを親がどう考えるか、幼稚園と保育園の違いを

●新木教育長

委員長が言ったように幼稚園の方がブランド、さっき言った制服なんかもあると思う。制服に帽子にかばん、昔は保育園にも制服はありましたが、今は私服になっております。感覚的に保育園は託児所、幼稚園は教育を受ける場所で学校だとあるとすればあなたがち委員長の言ったブランドもあると思われるが、でもやっていることは幼稚園も保育園も基本的に同じ。

●中野委員

お母さんが働いてなくても保育園は入れるのですか。

●中川学校教育課長

中々難しいと思います。

●新木教育長

そうなると働いている証明を事業所からもらわないとなりません。

●高岡委員

地域の教育力というか子どもに対して、例えば近所の頑固おやじだったり同じ年代だったり違う年代のご近所の中での教育力がありましたが、今はほぼほぼ町の中で子どもを見ないですね。これが悲しいところですね。そういう施設に入れないと教育や躾が中々できていかない。昔は我が家だけでもじいちゃんやばあちゃんがいる中で親が言わなくてもばあちゃんが言ってくれたり、近所の人にしかられたりというのも教育というかたちになっていくと思うし、そういうのが少なくなってます。子どもの声を聞かないですね。学校行って子どもの騒ぐ声きくとほっとするくらい子どもの声を聞かなくなりました。

●照井町長

それではこれで町の考え方は概ねご理解いただいたと考えます。細部の詰めについては、役場の事務方で協議して9月の議会前には教育委員会をとおしてみなさんにお伝えできるものと思います。ありがとうございました。

「その他」

●照井町長

次にその他の議題何かございますか。

●高岡委員

因みに先ほど教育長も説明しましたが、9月の議会前には報告することですが、その中間にもこんな方向でという報告をいただけますか。

●新木教育局

それは報告します。明後日1回目の事務局の財政的な面の協議がありますので、7月か8月の教育委員会で報告したいと思います。今のところ募集停止をいつの時点にするか、来年の4月からにするか平成30年の4月からにするか、9月までに方向性を決めるというのは一番早ければ来年4月に実施するというのが頭にある。

●加澤委員

通常募集はいつですか。

●新木教育長

10月くらいからです。昨年は制度の改正もあり12月で遅かったです。

●高岡委員

予め方向性を示してないと来年から募集しないと行ったとたん去年入った園児の保護者が「話が違う」となる可能性もあるから、募集しなくても卒園できることの理解を得るべき。

●新木教育長

すぐに廃園というわけではなく、在園児については卒園までいれるという方向付けとなると思う。

●高岡委員

僕が言ったのは、あの人数で推移すると思ったのにどんどん減っていくから「これじゃちょっと」と思う人が出ないようにしないとまずいと思う。

●新木教育長

当然保護者に対する説明もしていかなければならない。

●中野委員

子どもに何て言うのか心配。

●高岡委員

ある程度この人数の推移が見えれば、この辺で（募集停止を）やらざるを得ないよというのがはっきりするだろうけど。

●中野委員

話がずれますが、江差幼稚園から第3子無料化で水堀保育園に行った子がいるのですが、そのお母さんと話す機会があり「保育園が寒くて」ということで、子どもは順応できるが大人から見るとかわいそうに思う。

●照井町長

議会でも北部の2つの保育園をどう考えているのかという質問もありましたし、今後施設が老朽しているのではやはりそっちも考えなければと思います。

●新木教育長

昭和40年代の建物ですから40年以上経過しております。当時建設当時は未満児の受入れを想定していないが、未満児を受け入れております。寒いという声は従前からあります。

●中野委員

江差幼稚園も6年前に立て替えてすごく暖かいのですが、その前まですごく寒かったです。職員も子どももそういうものだと思っていましたが、やはりかわいそうかなと色々課題はあるとは思いますが何とか改善していただきたい。

●照井町長

認識しております。

●新木教育長

新しい江差中学校は廊下も暖かいのですが、その他の学校は寒いです。

●照井町長

これで会議を閉じたいと思います。